

# 河道内樹木伐採について

令和4年度 第3回北海道管理河川の川づくりワーキング  
令和5年（2023年）2月17日

注：重要種などの情報については公表しないようお願いいたします。

# コンテンツ

1. 河道内樹木伐採のあり方について	3
2. R4年度 河道内樹木伐採予定の概要	9
3. 売買川の河道内樹木伐採	10
4. 鈴蘭川の河道内樹木伐採	14
5. 士幌川の河道内樹木伐採	16
6. サックシュオルベツ川の河道内樹木伐採	18
7. 音更川の河道内樹木伐採	20
8. 旧途別川の河道内樹木伐採	22
9. 美馬牛川の河道内樹木伐採	24

# 1. 河道内樹木伐採のあり方について

## 伐採時の樹木保全

## 川づくりワーキングでの協議に基づく

- \* 基本的に、**河道幅**（堤防と堤防の間の距離）の**10%以内の幅で樹木帯を保全**します。
- \* **魚類などへの日陰**の提供や流路の河岸保護のために、**水際に近い箇所での保全**を原則とします。
- \* **保全候補樹種**がある場合は、その樹木を含む**保全設定**を検討します。
- \* **片岸が住宅地**に接する場合は、**反対側での保全設定**を検討します。
- \* **ハリエンジュ**（＝ニセアカシア：外来種）は伐採対象とします。
- \* **伐採時期**はできるだけ鳥類の繁殖期を避け、可能な場合は10月以降<sup>※1</sup>とします。
- \* その他、地元住民の要望も踏まえて伐採方法や保全対象木、伐採対象木を検討します（ドロヤナギ等）。

※1 さらに可能な場合は積雪後に実施して重要種植物への影響を考慮します

## 樹木調査

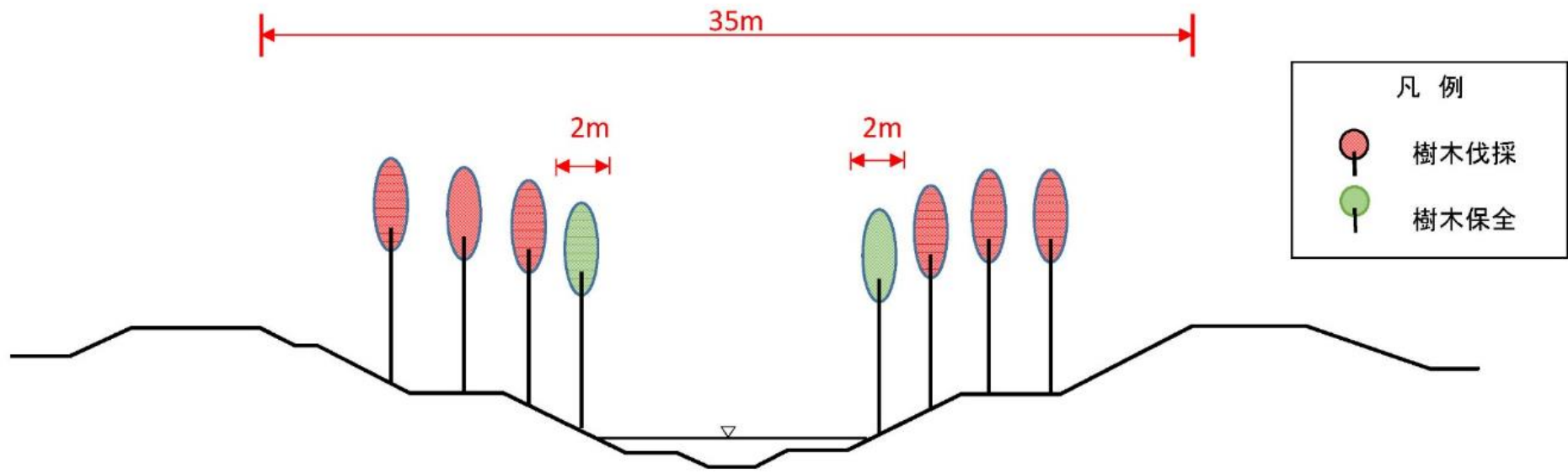
- \* **施工前**に各施工箇所の**樹木調査**を行い、**保全候補樹種を確認**します。

# 1. 河道内樹木伐採のあり方について

## 河畔林保全断面イメージ

## 売買川の標準イメージ(H28年度資料より)

鉄平橋 (SP1900) ~ 別府橋 (SP9700)



- \* **川幅の10%を以内**の範囲で樹木を**保全**します。
- \* 各河川の**具体的な伐採範囲**については、**伐採前に現地調査**を行って検討し、その状況に応じて決定します。

# 1. 河道内樹木伐採のあり方について

調査結果の例

保全木: 売買川の伐採台帳より

科名	種名	保全木 本数		備考
		左岸	右岸	
バラ	バラ科の一種(園芸種)	1		地域住民による植栽木
ニレ	ハルニレ	3	13	持続性広葉樹
クワ	ヤマグワ	1	1	持続性広葉樹
ニシキギ	マユミ		1	持続性広葉樹
ヤナギ	ケショウヤナギ		2	重要種
	イヌコリヤナギ	2		鳥類営巣可能木
	エゾノキヌヤナギ		1	鳥類営巣可能木
ムクロジ	エゾイタヤ		1	持続性広葉樹
	カラコギカエデ		1	持続性広葉樹
ガマズミ	エゾニワトコ		1	鳥類餌・人食用木
	枯死木		1	鳥類営巣可能木
合計 7科11種29本		7	22	

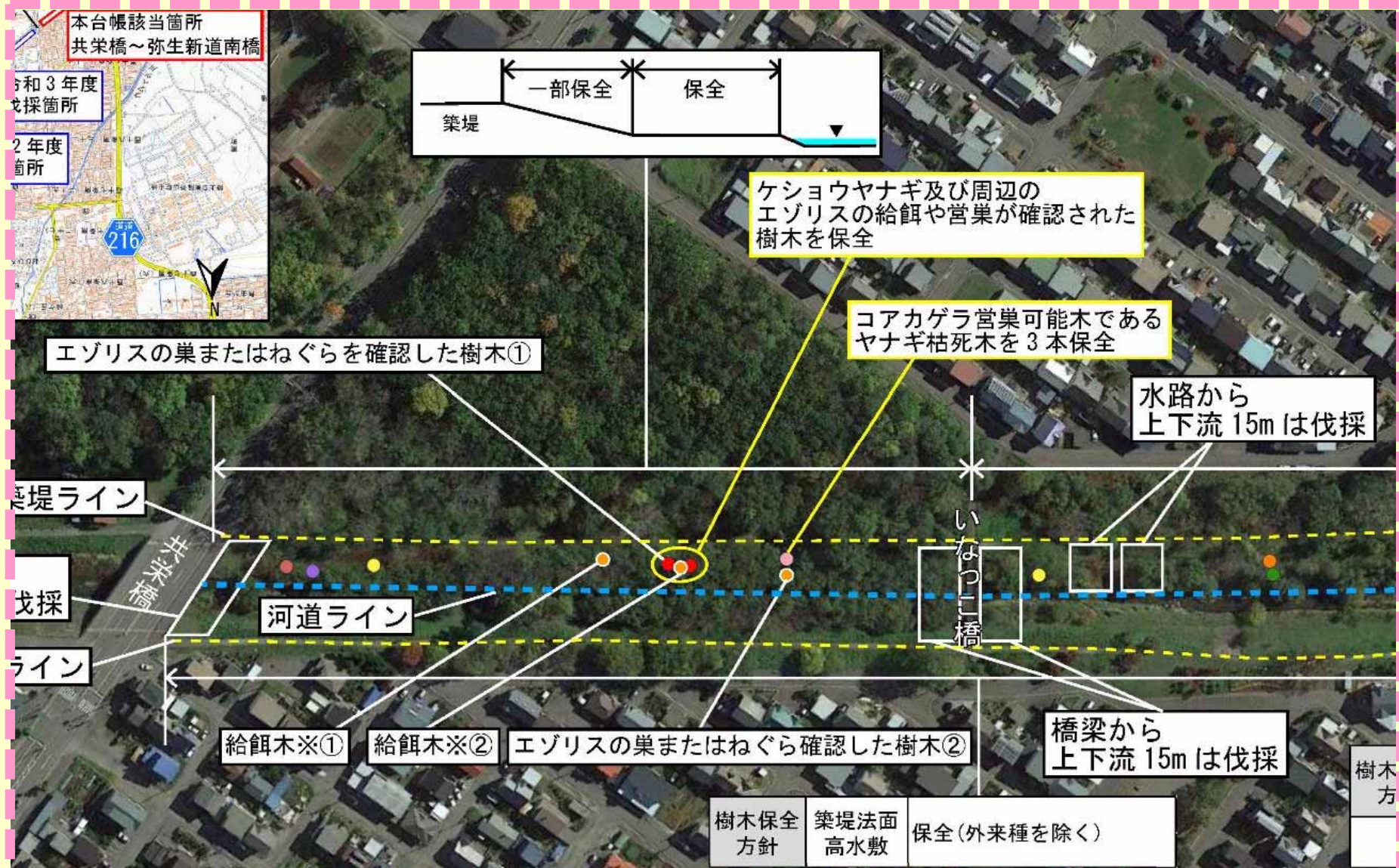
令和4年度 売買川河道内樹木伐採工事: 保全木一覧表(台帳No.2\_伐採計画平面図より)



# 1. 河道内樹木伐採のあり方について

## 調査を受けた伐採計画の例 2

## 伐採計画平面図の一部拡大: 売買川の伐採台帳より



令和4年度 売買川河道内樹木伐採工事: 台帳No.2\_伐採計画平面図(一部)

# 1. 河道内樹木伐採のあり方について

## 委員からの提言・質問等への回答

### \* 子どもたちの利用しやすさも考慮した伐採（売買川）

- 現在、保全木以外の樹木や流下阻害している水際樹木を伐採しています。今後は子どもからも川が見やすくなり、利用しやすくなると考えています。

### \* 再樹林化対策・樹木流出防止策としての伐根検討

- 基本的に伐根して進める方針ですが、護岸や堤防などに生育する樹木の伐根は施設を傷める可能性があるため、やむを得ず残す場合があります。
- 伐開作業の進行をより早くするため※、あえて伐根しない場合もあります。

### \* 漁業者等の社会的要請についての対応

- H28年の大雨により流出した大量の流木で甚大な被害が出ました。
- 北海道では流木被害を軽減するため、林務では治山施設建設や危険木除去を、建設管理部では砂防での流木捕捉工建設や継続的伐採を進めています。

### \* 河道内樹木伐採に関する農家の要請とは

- 主に、河道内の樹木繁茂による大雨時の越水被害や、畑に隣接する河川敷地の樹木の成長・老木化による畑への倒木被害の予防があげられます。



## 2. 令和4年度 河道内樹木伐採予定の概要

### R4年度 河道内樹木伐採予定箇所



市町村	河川名	伐採区間
帯広市	売買川	共栄橋~弥生新道南橋 L= 0.66 km
音更町	鈴蘭川	武勝橋~北蘭橋 L= 1.1 km
	土幌川	栄橋~安楽橋 L= 2.5 km
音更町	サックシュオルベツ川	第8号橋~牧野橋 L= 1.2 km
	音更川	シリクニ川合流点下流 L= 0.5 km
幕別町	旧途別川	千住6線橋~千住14号橋 L= 0.46 km
芽室町	美馬牛川	美蔓橋~落差工 L= 1.3 km

凡例	
	R4年度予定区間
	過年度実施済み区間

# 3. 売買川の河道内樹木伐採

11月～3月



### 3. 売買川の河道内樹木伐採

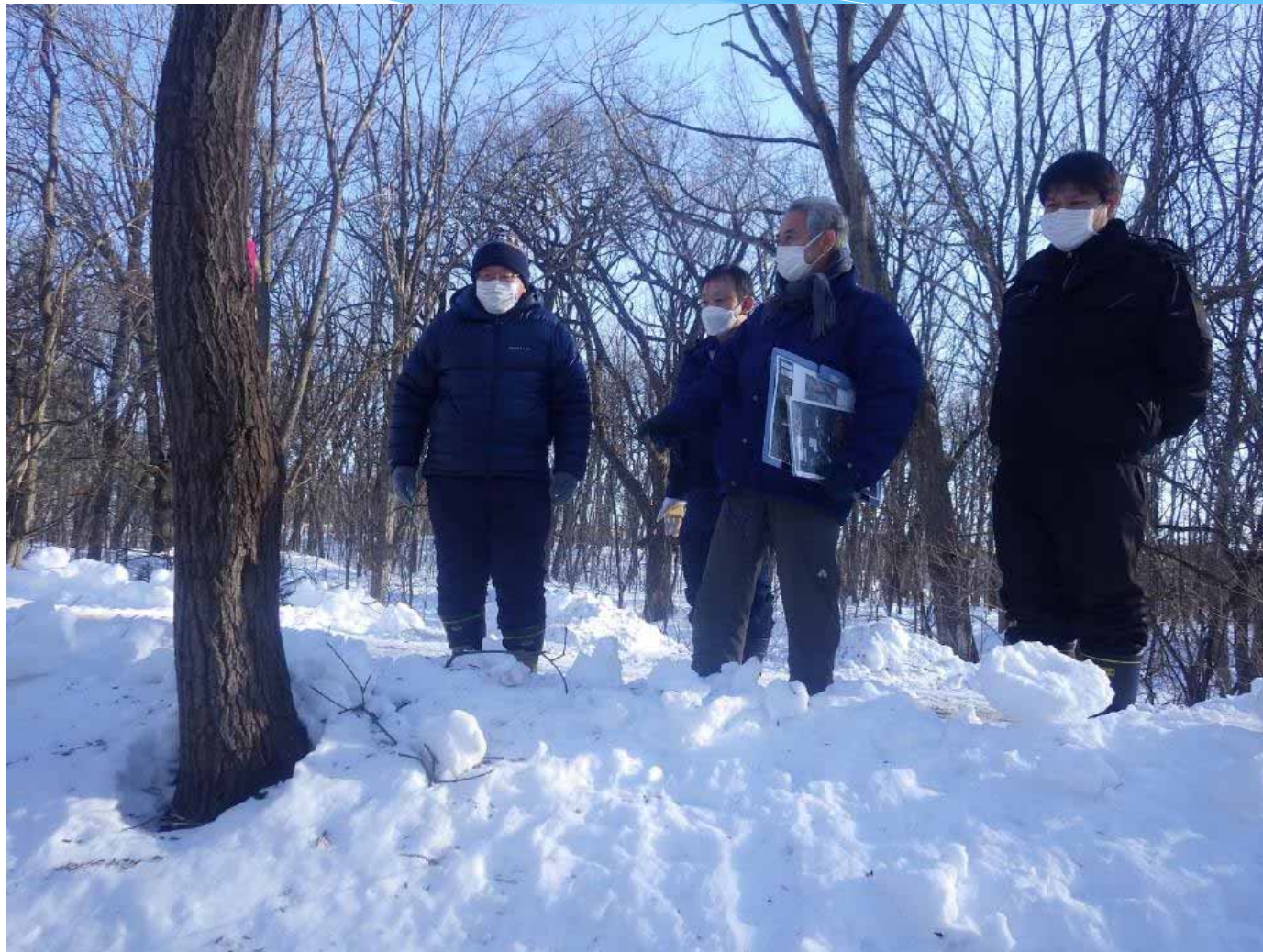


売買川：伐採前の状況（共栄橋上流）（R4.12.7）

### 3. 売買川の河道内樹木伐採

#### 高倉委員との現地確認 ①

\* 売買川の伐採前に高倉委員と現地確認を行いました。



売買川伐採前の現地確認(R5.1.11)

##### 【保全方針(抜粋)】

- \* 基本的に高水敷の樹木はヤナギ類高木を除いて保全し、高水敷に樹木がほとんどない箇所は、水際斜面や堤防斜面の持続性広葉樹※1を保全する。
- \* エゾリスの巣又はねぐらが確認された樹木は保全する。
- \* 近隣住民により給餌用にヒマワリの種が置かれている樹木、コアカゲラ営巣可能木である枯死木は保全し、堤防のヤナギ類高木やシラカンバは伐採する。
- \* 弥生新道南橋から下流約100m区間では、水際斜面の肩付近の持続性広葉樹のみ保全する。

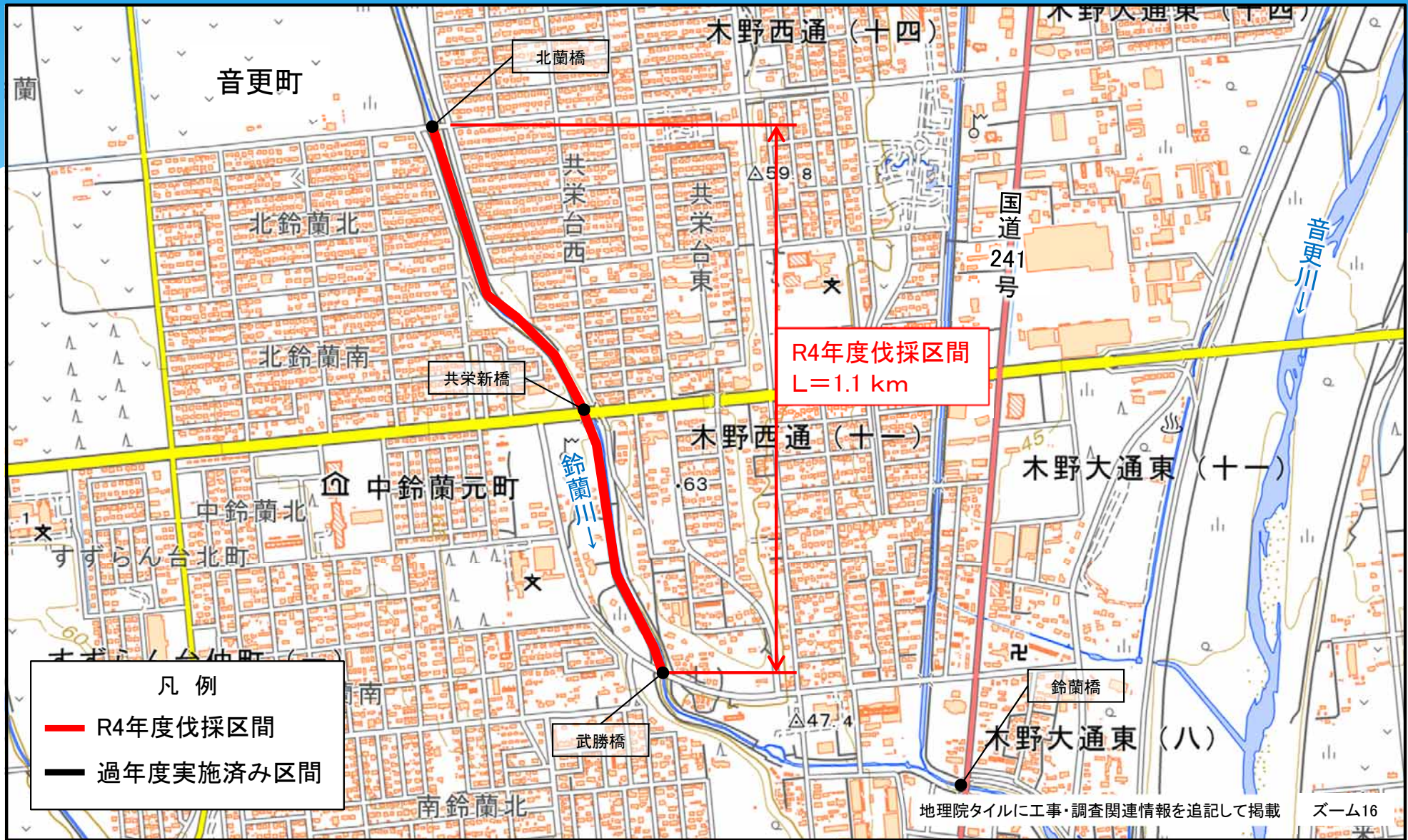
##### 【委員のコメント】

- \* 伐採計画について了解した。
- \* 伐採終了後に川づくりワーキング委員と一緒に現地確認をしたい。

※1 持続性広葉樹：広葉樹のうち比較的寿命が長い樹木。ハルニレ、カシワ、ミズナラ、エゾヤマザクラなど。  
対義語は先駆性広葉樹（ヤナギなど）

# 4. 鈴蘭川の河道内樹木伐採

10月～3月



## 4. 鈴蘭川の河道内樹木伐採



鈴蘭川：伐採前の状況 (R4.12.15)